

# 小学校教科等研修講座(算数科)

教科等指導員 瑞穂小学校 教諭 宮口 久希

担当指導主事：水津 和雅

キーワード：授業改善、どの子もわかる授業づくり、ICT、グループ学習

## 1 実施概要

実施月日	講師等	場所・形態	演題(またはテーマ)
2月2日(火)	瑞穂小学校 宮口 久希 教諭	瑞穂小学校 授業研究・事後研究	「ひもの長さは？(円周の活用) (第6学年)」

## 2 主な内容

### (1) 「ひもの長さは？(円周の活用) (第6学年)」

#### ① ねらい

自分の考えをもとにグループで話し合い、他のグループの意見と比べながら答えを導いていくことをねらいとした。

#### ② 導入

単に問題を提示するのではなく、児童が少しでも興味を持てるような話題を提示し、ひもの長さを求めることに必然性を持たせるようにした。

#### ③ 自力解決のために

問題を提示した後、すぐに立式し解答できる子どももいるが、そうでない子どもも多い。そういう子どもたちのための手立てとして次のようなことを行った。

- ・実物投影機で図形を拡大し、直線部分と曲線部分を色分けすることでそれぞれを求めればよいことに気付かせる。
- ・問題と同じ大きさの円の厚紙と針金を用意し、実際に操作させながら求め方を考えさせる。
- ・中心角が120度の扇形を3つ用意し、3つをくっけると1つの円(360度)になることを実感させる。

#### ④ グループ学習

自分の考えをもとにグループで話し合わせた。答えの見通しが立った子どもは相手にわかりやすく説明することで、説明する力を身に付けさせた。また、答えを導きにくい子どもは、周りの児童から説明を聞くことで、理解を図れるようにした。

#### ⑤ 全体学習

各グループで話し合ったことをホワイトボードに書かせ、それぞれのグループの考えを黒板に掲示することで、グループ同士の意見を比較し、思考を深めさせることができた。



## 3 成果と課題

### (1) 成果

- ① 視覚的にわかりやすい手立てとして、実物投影機を活用したり、具体物を操作させたりしたことが、児童の自力解決のために役立った。
- ② グループ学習で、児童が自分の考え方を説明したり、友だちの説明を聞いたりすることで、問題の解き方について、理解を深めることができた。

### (2) 課題

- ① 45分の授業の中で、どの部分を大切にしたいのかを明確にした上で授業を行う必要がある。
- ② 小学校算数研究会と連携しながら、参加者の輪を広げていく必要がある。